

15 農業市場情報システム強化支援事業

【令和7年度予算概算決定額 6（6）百万円】

<対策のポイント>

○ A M I S（農業市場情報システム）が果たしてきた役割を継続して果たすため、世界の食料等生産、需給等に関する客観的で正確な情報を提供するとともに、気候変動の影響やロシアによるウクライナ侵略等により食料サプライチェーンが深刻な影響を受けていることを踏まえた緊急時における情報収集・政策協議を促進。

<政策目標>

○ 国際社会においてA M I Sの目的である世界の食料安全保障確保に資する農業市場の透明性向上への対応のためA M I Sの機能が強化されており、我が国の危機対応能力や食料安全保障の向上に貢献。

<事業の内容>

1. 適時・正確かつ透明性の高い農業関連情報の提供

○ 主要作物（昨年から追加された肥料も含む。）の需給情報、市況等の分析や見通しの提供。高級実務者間での迅速対応のための協議円滑化のための情報収集。

2. 食料安全保障懸念要因調査

○ 食料価格の乱高下の要因となり得る事例の収集及び分析。

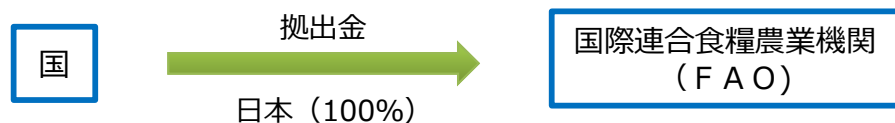
3. 食料安全保障に係る危機管理検討

○ 抽出された懸念要因に対して、食料価格の乱高下、特に輸出国・輸入国への影響度合いの分析及び状況把握のための調査項目・調査方法の検討。

4. 非G20メンバー国を含む各国の食料サプライチェーン影響調査及び迅速な改善検討のための環境整備

○ パンデミック等、危機的状況における必要な情報収集と迅速な共有を実施し、改善方策案を迅速に検討できる環境整備。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

A M I Sによる対応

- ① 適時・正確かつ透明性の高い情報提供（情報の質・分析・見通し改善）
- ② 危機の際の対話・対応・政策協調の促進
- ③ 途上国の能力開発
- ④ パンデミックやロシアのウクライナ侵略等、突発的要因の調査・分析
- ⑤ 食料サプライチェーンへの影響把握
- ⑥ 非G20メンバー国との連携
- ⑦ 肥料・植物油市場の監視強化

影響緩和・回避

穀物等の価格の変動要因

異常
気象

バイオ
燃料
増加

畜産物
需要増
等

突発的要因

海上・陸上
輸送に
おけるリスク

パンデミックやロ
シアのウクライ
ナ侵略等によ
る影響

その他
の要因

【お問い合わせ先】

- (1) 輸出・国際局新興地域グループ
- (2) 輸出・国際局国際戦略グループ

(03-3502-5913)
(03-6744-1501)